



【プレス・リリース】

ドイツ証券、
ドイツ銀行初のサムライ債発行で主幹事

【2001年6月1日、東京】 ドイツ証券会社東京支店は、本日、同社親会社であるドイツ銀行が初めて日本市場で発行した円建外債（サムライ債）の単独主幹事を務め、同債券を成功裡にローンチした旨を発表しました。

本社債は、フランクフルトに本拠を置くドイツ銀行 AG を発行会社とした、ドイツ銀行 AG ロンドン第 1 回期限前償還条項付円貨社債（2001）です。発行総額は 300 億円。発行価格は 100 円、償還日は 2011 年 6 月 15 日となっています。なお、本社債には、発行会社の選択により一括償還できる期限前償還条項（2006 年 6 月 15 日及び、それ以降の 6 月の利払日）が付与されています。

表面利率は以下の通りです。

2001 年 6 月 16 日から 2006 年 6 月 15 日までが 1.00%
2006 年 6 月 16 日から 2007 年 6 月 15 日までが 1.30%
2007 年 6 月 16 日から 2008 年 6 月 15 日までが 1.60%
2008 年 6 月 16 日から 2009 年 6 月 15 日までが 1.90%
2009 年 6 月 16 日から 2010 年 6 月 15 日までが 2.20%
2010 年 6 月 16 日から 2011 年 6 月 15 日までが 2.50%

本社債は、ムーディーズから Aa3 の格付けを得ているほか、スタンダード・アンド・プアーズから AA、フィッチからも AA の格付けを得ています。

ドイツ証券会社のマネージング・ディレクター兼同債券本部統括責任者である中居英治は、今回初のサムライ債の主幹事を務めたことについて、「この度のドイツ銀行のサムライ債は、金利および債券市場の動向を注視し、機関投資家の関心を見極めた上での発行となりました。本サムライ債は、期限前償還条項付きステップアップ債の仕組みを活用し、投資家に魅力的な商品を提供することにより、仕組債としては極めて大型の起債を実現することができました。ドイツ証券は今回のサムライ債での主幹事案件を機に、今後も国内外の発行体の資金調達ニーズと投資家の運用ニーズに十分応えていきたいと考えています」と述べています。

一方、発行体であるドイツ銀行の英国トレジャラー兼資金調達/流動性管理部門のグローバル統括責任者を務めるマイケル・ロイターは、「サムライ債市場は、当行にとって資金調達の幅を広げるだけでなく、日本の投資家に、日本国内で魅力ある円建投資商品として当行の債券を提供できる意味でも有効な市場といえます」と話しています。

また、ドイツ銀行グループの日本におけるチーフ・カントリー・オフィサーを務めるジョン・マクファーレンは、「今回のサムライ債発行は、当グループの日本市場に対するコミットメントの現われ」として、

日本市場が同グループのグローバルなビジネス戦略上重要であるとともに、魅力的な資金調達源の一つであることを示唆しています。

以上

ドイツ銀行グループは、日本において約 1,300 名の従業員を擁し、ドイツ証券会社東京支店、ドイツ銀行在日支店、投資顧問子会社等を通じ、企業金融、投資銀行業務、プライベートバンキング、投資顧問などの広範なサービスを提供しています。また、資産規模において世界最大の銀行で、ユーロ圏で主導的な地位を占めています。同グループはユーロマネー誌より 2 年連続で資金調達における総合力第 1 位に選ばれており、同誌の 2001 年 1 月の「Poll of Polls」でも総合力第 1 位と高い評価を得ています。

ドイツ銀行グループは、約 1 兆ユーロにのぼる資産と 9 万 8 千人の従業員を擁する世界でも有数の金融機関として、世界 70 カ国以上で顧客の皆さまに幅広い金融サービスを提供しています。特に、資産運用、資金調達、投資銀行、カストディ、キャッシュ・マネジメント、プライベート・バンキングの分野では、世界でもトップクラスの金融機関として、その地位を確立しています。ドイツ銀行グループでは、顧客重視の姿勢を一貫し、また顧客サービスをより強化するため、組織を「投資銀行部門 (CIB)」と「個人顧客および資産運用部門」の 2 つに集約しています。当グループでは、顧客重視、革新性、高い専門能力に裏付けられた幅広い商品およびサービス、強固な財務基盤こそが成功の鍵となるという考えのもと、グローバルな規模でビジネスを展開しています。

<この件に関するお問い合わせ先>
コーポレート・コミュニケーションズ
安立 聖子
電話: (03) 5156-7705